

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年7月19日（火）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアN

3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアNの状況

4 確認結果の概要

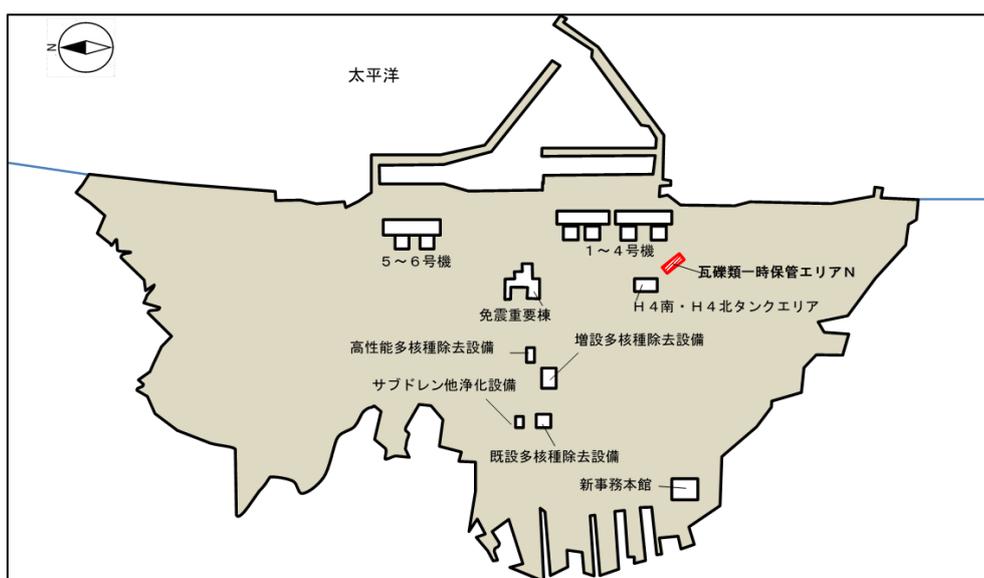
汚染土壌を収納したノッチタンクを保管している瓦礫類一時保管エリアN（以下「一時保管エリアN」という。）の現況を確認した。

（図1）（前回確認：[令和3年7月21日](#)）

- 一時保管エリアNは単管バリケード及びロープで区画されており、西側の構内道路に面した場所に、瓦礫類の一時保管エリアである旨の表示及び立入制限や空間放射線量率の測定結果を示す表示が掲出されていた。

（写真1）

- 前回確認時と同様に、表面に錆の発生や塗装の剥離のあるノッチタンクがあったが、確認した範囲ではノッチタンクの破損や内容物の流出等は見られなかった。（写真2）
- 傾いているノッチタンクが数基確認されたが、いずれも単管パイプや鋼材で補強されるなど転倒防止措置が講じられていた。（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアNの概観
(北西側から撮影)



(写真1-2)
単管バリケードと表示の状況
(西側から撮影)



(写真2-1)
ノッチタンク表面の錆発生状況の例



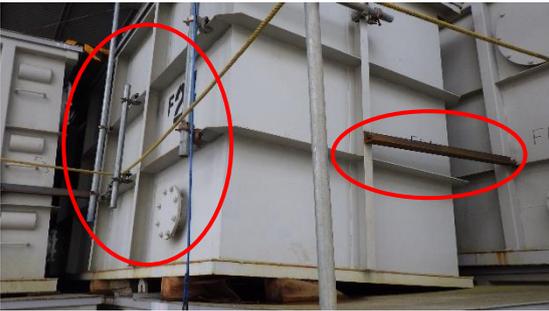
(写真2-2)
ノッチタンク表面の塗装剥離状況の例



(写真3-1)
傾いたノッチタックの例



(写真3-2)
単管パイプによる補強例



(写真3-3)
単管パイプ及び鋼材による補強例

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。